

1人1台端末を活用した教育の充実

中核校	七飯町立七重小学校	指定校	七飯町立峠下小学校、七飯町立藤城小学校 七飯町立七飯中学校
-----	-----------	-----	----------------------------------

実践前の状況

- ・1人1台端末の活用機会は増えてきたが、日常的な活用には至ってなかった。

実践の概要

授業における1人1台端末の活用の推進

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、ジャムボードを使ってバスケットボールの作戦をチームで共有するなど、1人1台端末を活用する場面を意図的に設定した。
- ・教員の1人1台端末の活用能力を高めるため、アプリの使用方法や効果的な活用場面等に係るミニ研修を行った。

授業時間以外の場面におけるICT活用の推進

- ・児童の1人1台端末の操作技術の定着を図るため、タイピング練習や健康観察、アンケートの回答など、授業時間以外の場面における活用を積極的に進めた。
- ・保護者の1人1台端末の活用に係る理解を深めるため、長期休業中に1人1台端末の持ち帰りを実施し、AIドリルでの自主学習を計画的に行った。



【国語のインタビュー活動】

		思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない	良好	要改善	
情報活用能力							+	+	
11	クロームブックを使い、タイピングをしたり、情報を集めてまとめたり、プログラミングをしたり、正しい使い方を身につけたりしている。	児童	61.4	29.0	6.3	3.4	90.4	9.7	
	お子さんは、クロームブックを使い、タイピングをしたり、情報を集めてまとめたり、プログラミングをしたり、正しい使い方を身につけたりしている。	保護者	34.3	43.2	9.7	0.8	11.9	77.5	10.5
	児童は、クロームブックを使い、タイピングをしたり、情報を集めてまとめたり、プログラミングをしたり、正しい使い方を身につけたりしている。	教職員	36.0	56.0	8.0	0.0	92.0	8.0	

【学校評価（児童・保護者・教員の結果比較）】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・効果的な授業改善による子どもの学びの深まりについて共通理解を図るため、個々の教員が積み上げてきた実践を価値付けながら、1人1台端末を「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のためのツールとして活用するよう指導助言した。
- ・授業の目標を達成するため、1人1台端末をどのように活用したかを取り上げ、1人1台端末の活用に係る共通理解を深めるよう工夫するとともに、日常から意識するべき授業改善の方向性について指導助言した。

〔担当教員の取組〕

- ・指導観の転換を図るため、1人1台端末を効果的に活用した提案授業を行うことにより、1人1台端末の活用イメージの共有を図るとともに、グループワークの実践交流を中心とした校内研修を進めた。
- ・児童が主体的に1人1台端末を活用できるようにするため、1人1台端末の持ち帰りのトラブル対応に必要な事項をまとめ、全教職員で共有した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

1人1台端末の授業及び授業以外の場面における活用を促したことにより、児童の情報活用能力が高まった。

〔学校評価（児童）の「Chromebookを使い、タイピングをしたり、情報を集めてまとめたり、プログラミングをしたり、正しい使い方を身につけたりしている。」項目について、肯定的な評価であった。（新規項目：90.4%）〕

「ICT端末等の活用に向けて」ステップ3の実現に向け、児童の思考力と表現力を伸ばすICTの活用方法について、一層の充実を図る必要がある。